

## 令和7年度生駒市総合計画審議会全体会第3回 会議録

開催日時 令和8年3月13日(金) 14時～15時

開催場所 生駒市役所大会議室

### 出席者

(委員) 久委員、高取委員、大谷委員、清水委員、田中委員、浦久保委員、唐金委員、  
中垣委員、松山委員、長崎委員、塗本委員

(事務局) 牧井企画政策課長、粉家企画政策課主幹、高山企画政策課企画係員

欠席者 森委員、堀部委員、澤藤委員、水野委員

### 議事内容

1 開会

2 諮問

3 企画政策課長挨拶

4 案件

(1) 第6次総合計画第2期基本計画の進行管理方法について

5 その他

【事務局】 (開会宣言、配布資料確認)

### 以下、発言要旨

1 開会

【事務局】 ただいまから令和7年度第3回生駒市総合計画審議会を開催する。

【事務局】 はじめに、各委員の皆様をご紹介させていただく。

(名簿順に順次紹介)

【事務局】 続いて、事務局職員を順に紹介させていただく。

(事務局順次紹介)

## 2 諮問

- 【事務局】 続いて、本審議会に対して諮問を行うにあたり諮問書の内容を代読する。  
第6次生駒市総合計画第2期基本計画の令和7年度分の進行管理について、  
諮問させていただく。  
(企画政策課長諮問書を代読)

## 3 企画政策課長挨拶

- 【事務局】 続いて、企画政策課長より挨拶を申し上げます。  
(企画政策課長挨拶)

## 4 案件

- (1) 第6次総合計画第2期基本計画の進行管理方法について
- 【事務局】 それでは、会議次第に従って案件に入る。ここからの議事については議長である会長に進行をお願いする。今回は説明を聞いていただき、その方向で良いのか確認をする回である。
- 【久会長】 本日の案件は、第6次生駒市総合計画第2期基本計画の進行管理方法についてであり、次回以降は総合計画審議会でも本格的に進行管理を行うこととなる。まずは事務局から説明をお願いします。
- 【事務局】 ([資料3] 第2期基本計画の進行管理方法について(案)について説明)
- 【久会長】 今、説明いただいたが、委員の皆様から意見や質問等はあるか。
- 【長崎委員】 今回の会議は初めての開催か。
- 【事務局】 令和7年度の進行管理についての審議という点では初回になる。
- 【長崎委員】 [資料4-2] 第2期基本計画 各施策のめざす状態一覧に記載されているめざす状態が少し曖昧ではないか。市民自治活動・学びの施策であれば、地域活動や市民活動が増えたのか、盛んになったのかについて、具体的な設定にしないと達成度が評価できないのではないかと。子育て世代が住みやすい環境づくりの戦略的施策も「25歳～44歳を中心とした子育て世代の転入・定住が促進されている」というめざす状態だが、こちらも具体的な目標設定にした方が成果を追えるのではないかと。
- 【事務局】 市民自治活動・学びの施策ではめざす状態への進捗状況を測る代表的な3つの指標として、「複合型コミュニティの拠点数」や市民実感度調査のアンケート項目の一つでもある「市民参加が盛んなまちと答えた人の割合」、「学習・文化活動が盛んなまちと答えた人の割合」を挙げている。これらの指標はあくまで参考であり、3つの指標のみで評価をいただくものではないが、各施策で同様に設定をしている。子育て世代が住みやすい環境づくりの戦略的施策についても、

令和6年度の進行管理を実施していただく際に、めざす状態が設定されていないと評価が行いにくいとお声があり、基本的施策と同様に設定している。指標は5歳、10歳、15歳のこどもの人口と子育て世帯の住みやすさの満足度を設定している。こちらも参考にしてめざす状態への進捗を測っていただきたい。

【久委員長】[資料4] 第2期基本計画進行管理検証シート(案)(緑色)の記載内容を審議会が評価していくことになる。[資料5] アクションプラン事業評価シート(R7様式)に掲載される事業数はいくつであるか。

【事務局】アクションプランとして設定している事業数は約200事業を超える。法定受託事務等の経常的な事業は省いている。

【久委員長】アクションプランは300近くの事業があるが、それらを個々に評価するのではなく、総合計画審議会では基本的施策が13施策、経営的施策が4施策、戦略的施策が4施策、それぞれをパッケージとして評価する。[資料4]の検証シートの下部に記載されている代表的な指標が数値としての目安となる。一つの施策には複数のアクションプランが紐づいているので、それらが組み合わさった施策の進捗度を成果欄等の記載で評価する。また、施策の方向性ごとに施策目標の実現に効果のあった取組と効果の内容と根拠を数値で記載する欄もあるので、数値によるエビデンスも含めて総合的に判断し、施策の進捗度を評価する。課題に対する今後の取組の方向性に対しては、課題解決に資する取組になり得るのか皆さんのご意見を頂戴したい。めざす状態の抽象度が高いが、検証シートに記載されている内容から施策の進捗度を測ることができると思う。令和7年度の進行管理においては検証シートの記載方法について、私からも担当課へアドバイスを行う予定で、それを踏まえて事前に担当課がチェックを行った検証シートを委員にご覧いただくこととなる。

【長崎委員】例えば、第2期基本計画の冊子、40ページの子育て世帯の住みやすさの満足度の指標は観念的ではないか。

【久委員長】主観的ではある。

【長崎委員】主観的でない具体的な数値を指標にできないか。

【久委員長】具体的な数値は根拠として出てくる。事業ごとの指標は担当課が把握している。

【長崎委員】担当課が把握している指標を根拠に総合的に評価するなら、担当課が把握している事業ごとの指標の達成状況は評価しなくていいのか。

【久委員長】各分野でマスタープランが策定されており、そのマスタープランでも確認している。総合計画は上位計画にあたるので、パッケージとしてどのように進捗しているか評価する必要がある。

【長崎委員】アクションプランは300事業近くあるということだが、多すぎないか。根

本的な問題であるが疑問に思う。優先順位をつけて事業数を絞ったほうが分かりやすいのではないか。

【事務局】 個々の事業の取組評価については生駒市行政改革推進委員会にて、事業評価シートを用いて行う。事業そのものが効率的に行われているのか、同委員会で選定した事業について来年度も行う予定である。

【久委員長】 市役所は良くも悪くも総花的な仕事になる。総合的に市民生活を支えているので、事業数は多くならざるを得ない。事業ごとに評価を行うのではなく、個々の事業が連動しながらどのように市民生活を支えているのかを評価するのが総合計画審議会の役割である。分野別のマスタープランでも分野別の評価をしているが、分野を超えて評価する必要があるため、抽象度が高くなることはご容赦いただきたい。今後、部会で進行管理検証シートを見て質疑等を行いながら評価を進めていきたいと考えている。

【高取委員】 前回の進行管理の検証では、アクションプランの事業評価シートを各施策に紐づけられた形で共有していただいたが、情報量が多すぎて事前に KPI 等の指標を全て確認することができなかった。委員に共有していただくシートは進行管理検証シートのみでいいのではないか。

【事務局】 総合計画審議会では事業評価シートをベースに評価いただくのではなく、施策ごとに評価をお願いしたい。進行管理検証シートには具体的な事業名が記載されることもあり、その際の参考にするための事業評価シートであると認識いただきたい。

【久委員長】 事業評価シートを全て読み込むと大変な労力となる。委員の皆様には進行管理検証シートを見ていただきたい。検証シートだけで評価できない記載内容があれば、事業評価シートを確認するようにしてもらいたい。基本的には進行管理検証シートを読んだだけで評価できるように担当課が記載する必要がある。

【松山委員】 行政改革推進委員会では事業評価シートの役割が重要である。KPI の目標値と実績値の差分について、もう少し分かりやすく記載できるようにした方がよいのではないか。

【事務局】 事業評価シートは主に行政改革推進委員会で使われるシートになるので、行政改革推進委員会の場で今後、様式を審議していきたい。

【松山委員】 市民実感度調査の調査結果は載せないのか。

【事務局】 令和7年度の調査結果も進行管理検証に必要な項目は検証シートに掲載する。

【久委員長】 市民実感度調査についても直近の結果を見ながら評価をすることになる。長崎委員の意見にもあったが、客観的な数値が上がっていても、市民の実感度が高まっていないこともある。その原因を考えることも重要であり、主観的な評価と客観的な評価を組み合わせながら評価をすることが、総合計画審議会が評

価を行う際のポイントになる。例えば、景気動向調査でも景況感という表現があるが、それは好不況の数値に加えて、それを実感できているかを表現しているものであり、この考え方によく似た仕組みであると思う。前回、参加していただいた委員は全体像を理解していただいているが、検証シートがお手元に届いた段階で疑問点が出てくると思うが、その際に事務局に投げかけてもらえればと思う。

部会の構成や進め方については事務局からの説明で異議はなかったか。

ー異議なしー

【久委員長】 それでは令和7年度の進行管理についてはこの方法で進めていく。

### 3 その他

【事務局】 これから検証シートを担当課が記入していく。次回の会議は年度明けになるが、事務局から日程調整の連絡をするので対応をお願いしたい。  
令和8年度から9年度にかけて第3期基本計画の策定が始まるので会議回数が増える。ご迷惑をおかけするが、ご出席いただきたい。

【久委員長】 （閉会宣告）